

# 子供の遊び場作り



制作：EMA

# メンバー紹介



一応代表  
森山直樹  
独身

竹を使ったイベントを実施している。  
今回の実行委員会での  
原案を提案。  
あだ名はヤーマン



美濃英俊  
独身

『江田島へ行こう』  
というサイトを運営。  
面白い事が大好きの  
アクティブな  
アラフォー。  
あだ名はみのっち



向井雅文  
既婚

昨年、長女を授かり、  
娘を田舎で育てて良  
かったという環境を作  
りたい。  
ETAJIMA SEA SUPPORT  
メンバー。  
あだ名は雅君

# 最初の最初

この事業が始まった時、森山と、向井の二人でした。  
最初は昔の遊びをやって、普及させて、世界大会を開催をしようと簡単に考えてました。

しかし、昔の遊びを今も子供が知ってるかも分からない状態で、世界大会を開催は難しいと考えてました。

二回目の会合で、美濃さんが参加し、議論が深まり、今の子供が遊んでいる姿を見ないと言う事から、江田島市の公園の現状把握が優先ではないかと言う話になりました。  
そして、それをホームページにまとめて、誰でも見れる物を作る事をしようと決定しました。

子供の遊び場作りと言う話なのですが、  
まず、子供が遊んでいる姿を見ない現状で、30万円で遊び場を作るのは難しい話で、ならば、現状でどこで子供を遊ばせる事が出来るかを紹介する事が重要だと考えました。

江田島市が今までやってきた現状把握をする。  
そこからのスタートだと思いました。  
自分達が遊んでいた頃を思い出し、小学校で遊んでいると思ってましたが、それが全く違いました。  
怪我を心配してか、放課後に小学校で遊ぶ事が出来ないそうです。  
そして、閉校に伴い、小学校に集まると言う風潮が無くなったようです。

# 今回の目的決定！！

いきなり大きな成果を出そうとしても難しい事なので、堅実に、そして、この補助金事業が無くなっても細々とでも活動する事が出来る状況にもっていけるか？  
それを真剣に議論しました。

## 一つ目

江田島の中の公園を調査して、検索出来るサイトを立ち上げよう！

## 二つ目

昔の遊びのルールを調べよう！

## 三つ目

実際に昔の遊びをやろう！

# まずは公園調査！

一番目の江田島市が運営をしている公園を検索できる物が無いと聞いたので、それをまずは検索出来る様にする事から始めました。

江田島市からの情報では公園は80ヶ所を超えてましたが、海岸や、森林、墓地等も含めた物で、子供の遊び場対象からは適さないと言う事で、68ヶ所が対象と捕らえました。

それを手分けをして、全て周り、データベース化は・・・出来ませんでした。

住所が市が管理をする為の地番で、所謂、ホーム局で検索する方の住所なので、分からない物もありました。

現地にて、話を聞いたりして、探しましたが、見つける事が出来ない公園もありました。

そして、閉校した小学校等は対象外になってましたが、それも入れました。

更に、児童館なのに漏れているものもあつたりと、何かと混乱がありましたが、まとめ上げたサイトがこちらです。

江田島市内の64ヶ所の公園が検索できます。

江田島parksです。

<https://etajimaparks.com/>



# 実際の調査

ホームページを作る事に際して、子供を持つ奥様からのアドバイスを受けました。  
当たり前ですが、子供を公園で遊ばせる事が無い人間の集まりなので、子供を持つ母親目線での言葉を貰い、調査シートを作成しました。  
内容的には、日陰の有無や、オムツ交換のシートの有無など、今まで考えてない物が多くありました。  
それを元に実際に現地に赴き調査をしました。



# 昔の遊びの調査

実はこれがかなり難航しています。

理由としては、

1. やった事があるけど、ルールが思い出せない。忘れた。
2. 江田島市の中でも同じ遊びなのにルールが違う。
3. 同じ遊びなのに地域と年代によっても名前が違う。

今回の調査で明確に出来たのは小中大元だけです。

それをサイトに反映しました。

でも、これを調べるのは面白いと思います。

日刊わしらと言う県が運営しているSNSで投稿した所、同じ名称だったり、違う名前で同じ事をしてたりと、年代や小さな地域でも大きな違いがあり、

国木田独歩先生が唱えた言語圏論にも通じた自然発生した遊びが拡大して、各地に転移していく様子が調査出来れば、発祥の地と声を高らかに言える元になるかもしれないと思っています。

それが、判明する前に世界大会をやれたら良いと思いますが。(笑)

だから . . .

**知ってる遊びがあれば教えて欲しいです！**



# 実際に昔の遊びをしてみた

最近、江田島では多くのイベントがあり、EMA主体いでイベントを行うのは人の分散を伴い、あまり良い状態では無いと考え、他の人がやるイベントで付属として開催してみました。  
今回は谷本さんがやるパラシュートとそれを飛ばすパチンコ作りでした。



その時に小中大元をやったのがYouTubeでも見れます。  
『小中大元のやり方』で検索したら出てきます。  
そして、それを作成したホームページにリンクしてます。  
その動画がこれです。



# 活動をやってみての気づき

今回の活動において、自分達に無い視点や、今の子供達が置かれている昔との状況の変化等が分かりました。まず、一つ目です。

『一緒に遊ぼうやあ』

『よせてえやあ』が無い。

これが今の子供に無いんです。

少子化だから仕方ないのかなあ。

でも、それは改善はしたいなあと思いました。

けど、ここで自分の意見のみで考えてはいけないと思い、専門家の意見も伺いました。

ゆめのたね放送局のパーソナリティーの金川美樹先生からコメントを貰いました。

金川先生は幼児教室指導員を20年以上されているので、今回やった感覚が実際の現場の状況とあってるのかのコメントがこちらです。

森山さん

お返事遅くなってすみません🙏

最近の子供達は本当にコミュニケーションが上手くないのと、友達関係の輪が狭いように思います。

声がかけれないというコミュニケーションの上手でない子が多いのも確かですが、  
たくさんの人と遊ぼうと思うより、特にそんな事をしなくてもいい！というドライな感じでいいみたいな感じがします。

これは子供達のお母さん達も一緒かなあって、なんとなく私は思えます。

ちょっと寂しいですが...

これは、あくまでも私の見解ですけどね🤔

少しでも参考になれば良いのですが🙏



と言うコメントを頂きました。

本来、子供のうちに経験して、交友関係を広げたりする能力を構築して欲しいので、これは子供の遊び場作りを通して改善出来ればと思ってます。

正直言うと、江田島で育ってきた自分にとって、大学に進学した時に、新しい環境になって、友達を作るのが、難しかった記憶があります。

保育所から高校生まで、ほとんど同じメンバーでいた事で、自分が多数の側でしかなかったのが、大学生になって、少数側になったのが、18歳で初めての経験で、そこで、積極的に声をかける事を初めて知りました。

それを江田島の中で、友達作りに積極的な子供が出来たら、きっと今後の江田島でも大きな影響をもたらすと思います。



二つ目ですが、これはお父さんお母さんの意見です。  
こういう子供を遊んでくれるイベントは、

# 子供の面倒を代わりに見てくれるん じゃないの？

と言う意見でした。

これが私達が考えていた根本が崩れました。

当初、子供を無料にしたイベントの開催をした方が良いと考えていました。

親も巻き込んで昔の遊びをする予定だったので、この考えだと、タダで子供押し付けられて、親が休むだけのイベントになりそうなので、子供に料金を発生をする様にしないと大変だと気付きました。

利用しようとするのを判断するのは親なのだから、その需要に合った考え方をする必要があります。

あくまでも、補助金が無くなっても活動が出来る様にしなければならない前提で考えてますので、お金の部分は真剣に考えてます。

三つ目です。

# 江田島の様に、自然豊かな環境で 子育て出来るのに、 子供が外で遊ばない！

これは、あるお父さんからの話で、学校が統合され、近所に一緒に遊ぶ子供がいない為に、学校から帰っても、学校にもバスを使って行く為に、学校にも集まらない。

そうになると、家で、ゲームかテレビを見る事になります。

子供を豊かな自然の中で育てたい人は江田島でも多くいると思います。

クワガタを捕りに行ったり、ザリガニを捕りに行ったりとか、生命と触れ合える場所でもあるのに、それを教えてくれる先生になる子供がいないのです。

怪我をしても良いから、そんな事を学んで欲しい親の方が田舎は多いにじゃないのかな？と思うので、クワガタ捕りのイベントもしたいなあ。と思ってます。

# それらを踏まえての今後

今回私達がやった成果は

**みんなが江田島の公園検索出来るホームページを作った！**

**今後の活動に必要な情報と道具を揃えた！**

それが成果です。

もし、来年度に活動する補助金があれば、もっと手厚く出来ると思うし、無くても、細々とは活動出来るかな？位の体制は整ってます。

## これからの活動方針

一つ目は当然、遊びのイベントをやる。けど、他のイベントとコラボ出来たら良いと考えてます。

というのも、今、江田島でのイベントが個々がやる物を含めると、非常に多いのです。

イベントが被れば、人も分散するので、お互いに良くないので、コラボが良いと考えてます。

例えば、アロマのイベントとコラボすると、お母さんはアロマのお話が聞けて、子供達はEMAで遊べるとかが理想です。

そういうお話があると、うれしいです。



二つ目は、新しい遊び道具の体験会が出来たらと考えてます。  
昔の遊びだけに縛られないで、新しい物にも目を向けてみたいと思い、今回スラッグラインを購入しました。



これは、世界の果てまで行ってQで、イモトアヤコさんが体験したので、見たことがある方もいるのではないかと思います。  
実は明日、深江でこれを試してみようと思ってます。興味がある方はブースまで。

三つ目はイベントを開催していない時に、EMAで買った遊び道具のレンタルが出来たら良いと考えてます。



今回購入した物の一例です。

遊び道具以外にも、竹でワークショップをしているので、それで、竹馬やカッポカッポ、竹ランプ作りの加工用に購入した物もあります。

海遊びするのに、発泡スチロールの加工に切断する物もあります。

エアースッカーと言う、ホバークラフトの要領で浮かして遊ぶ物もあるので、購入前に試してみたいとかにもレンタルがあると便利だと思います。

一般的なドッチビーの道具もあります。

そういった物のレンタルが出来ないかと考えてます。

まだ、考えてる段階なので、本決まりでは無いのですが。

現段階ではこんな感じで考えてます。

何もしなくても、ホームページのサーバー費用は確実に発生する物ですから、最低限それだけでも収益が出せれば活動は継続できる状態です。

**以上です！**